

2022 マンション管理士・管理業務主任者 講座説明会④

最短ルートで合格! 得点するための3つの力

～問題演習で鍛えろ! 基礎知識&問題解答力!～

1. 本試験で得点するために必要な3つの力とは?**(1) インプットだけで合格はできないのか?**

しっかりテキストは、読んだ、講義は聴いているはずなのに、どうしても模試や本試験で点数が伸びない。不正解だった問題の解説を見たら、知っている知識なのに、答えにたどり着けなかった。

考えられる原因は、大きく分けて3つです。

(2) 知識が得点に結びつかない3つの原因

① 「知識力」不足	<ul style="list-style-type: none"> ・ そもそも、必要な知識を覚えていなかった。 ・ 覚えたと思っていたけど、忘れていた。 ・ 自分が覚えたと思っていた知識が間違っていた。 <p style="text-align: right;">⇒ このような場合、「知識力」が不足しています。</p>
② 「解答力」不足	<ul style="list-style-type: none"> ・ 解説を読んだら、知っている知識なんだけど、なぜか正解にたどりつけない。 ・ 事例の問題の解き方がわからない。 ・ どこから手をつけていいか悩んでしまう <p style="text-align: right;">⇒ このような場合「解答力」が不足しています。</p>
③ 「得点力」不足	<ul style="list-style-type: none"> ・ じっくり解けば、正解にたどりつくのに、時間が限定されると正解にたどりつけない。 <p style="text-align: right;">⇒ このような場合、「得点力」が不足しています。</p>

本試験で必要とされる3つの力とは「知識力」「解答力」「得点力」です。これを「合格力」ということがあります。まず、本試験で合格するためには、自分にはどんな力が足りないのかを把握することが大切です。



VU22112

2. 三つの力を身につける方法は？

＜各分野と3つの力の関係＞

	知識力	解答力	得点力
法令系	○	◎	◎
管理実務・会計系	○	○	◎
建築・設備系	◎	△	◎

- ・「知識力」…全ての分野に必要となるが、建築設備系では、特に知識の有無が勝負を分ける問題が多い。
- ・「思考力」…法令系では必須であり、これが勝負を分ける。実務会計系では、会計分野で思考力が必要となってくる。建築設備系でも、近年、基本知識から、考えれば、解答できる問題も出題されている。
- ・「得点力」…全ての分野に共通して必要となる。

(1) 知識力をつけるためには

① 知識力とは

知識力とは、文字通り「知っている」ということですが、いたずらに知識の量を増やしても、結局あいまいに覚えたり、忘れてしまって、得点には結びつきません。

「基本知識」を「正確に」押さえていること、これが合格のための最低限の条件となります。

② 知識力を身につける方法

正確な知識を身につけるには、いたずらに「知識」を増やそうとしてはいけません。まずは、基本知識とは何かを意識し、これを「正確に」押さえることを心がけましょう。また、個別に覚えた知識を横断的に利用できるような整理をする必要があります。そのためには、テキスト・講義で必要な知識を確認するとともに、問題演習を通じて、基本知識の定着を図ることが必要となるのです。基本知識を意識できていない場合、テキストや、インプット講義を再度利用してみることも必要となります。

ここで基本知識とは、テキストにも記載があり、過去問でも出題がされている知識のことを指します。

(2) 解答力を身につけるには

① 解答力とは

解答力とは、考えて、答えを導き出す力のことです。

この「解答力」は、さらに「論理力」と「分析力」に分けることができます。

<「論理力」とは>

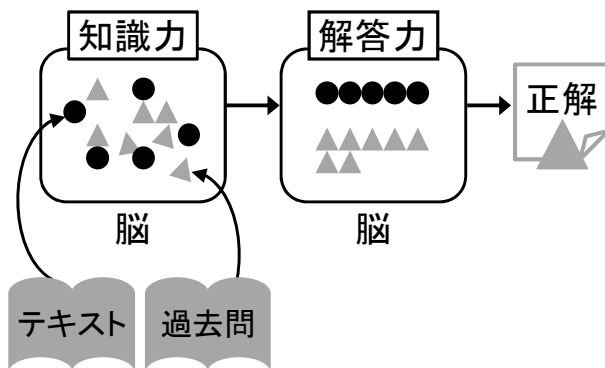
基本知識からの推論や、いくつかの論理の積み重ね等が、正解を導くためにどの程度必要かを表します。一見テキストに載っていない問題について、既存の知識等を利用して考え、答えを導き出すために必要となります。

<「分析力」とは>

問題文を単純な内容に分解し、自分の知っている知識に引きなおして考える力。言い換えれば、問題文自体の意味の把握や事例分析等をする力を表します。基本知識をひねられた場合や、複雑な事例問題を解く場合に必要となります。

② 解答力を身につける方法

単にテキストを読んでいるだけでは、解答力は身につけません。過去問や演習を通じて、身につけた知識の理解を深め、知識の使い方を習得することが必要となります。過去問で、「問われ方」や、「必要な力」を研究し、演習問題を通じて、思考力が身についたかを試していくことが必要となります。



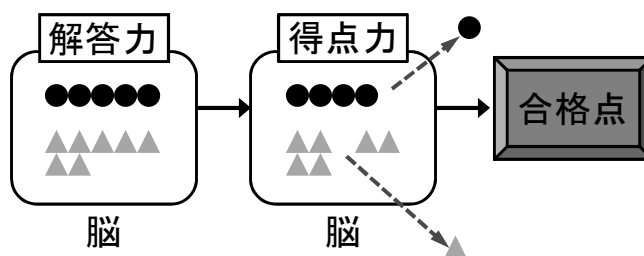
(3) 得点力を身につける方法

① 得点力とは

得点力とは、「制限時間内に合格点を叩き出す能力」です。

② 得点力を身につける方法

時間を意識しながら、問題を解く訓練をする必要がある。短時間で解答するためには、①基本問題を反射的に解けるようにすること、②思考力が必要な問題について、解き方を習得し時間を短縮すること、③わからない問題（捨て問）に時間をかけすぎないことが必要となります。



3. 過去問・問題演習・模試活用法!

過去問・問題演習・模試を活用して、解答力・得点力を磨くためには、解きっぱなしにしないことが重要です。

では、具体的にどのようなようにして、解答力・得点力を磨けばよいのでしょうか。

(1) 解答力養成のための過去問・問題演習・模試活用法!

問題を解く際に自己の弱点を分析していくことが必要です。

従って、実際の問題を解く際に、以下のような作業を行うとよいでしょう。

(a) 弱点ノートを作成する。

弱点ノートに盛りこむ内容は

- ・ 問題を間違えた原因が、①知識不足なのか、②ミスなのか、③他のところがあるのかを探る。
 - ・ 間違えた問題が、正答率が高い問題なのか、正答率が低い問題なのか。
 - ・ どのような形式の問題を間違えたのか。
- 等です。

(b) 事例問題では、人物関係図、時系列表を作成する。

⇒人物同士の関係性や、時間の流れを意識できるようになると、分析力が飛躍的にアップします。

(2) 得点力養成のための過去問・問題演習・模試活用法!

問題を解く際に、**コンディション**や、**解答時間**（ストップウォッチを準備）をメモして、記録しておくことをお勧めします。

どのような状況で間違いやすいか、ミスがしやすいかを分析しておくことにより、知識やテクニックだけでない。自分の特性を知ることができるようになります。

得点力は、コンディション等にも左右されるということを知っておくと、得点力を磨く対策も見えるようになるでしょう。

(参考) その他の解答力を身につける演習問題活用法**【1回目】**

- 正誤と自分なりの復習必要度を書き込む。
- 講義中に講師が指摘する受験対策上の重要ポイントや復習する際の視点を書き込む。

【2回目以降】

以下の各項目を、必要に応じてテキストのページや付箋に書き込む。

- 対応する法令の条文番号
区分所有法と標準管理規約はとくに対応する法令の条文番号を記しておく、整理に役立つ。
- 基本テキストの参照ページ
- 過去問集の該当ページや過去の本試験の出題年度と問題番号
- (誤り肢の場合) 引っ掛けポイントと正しい知識
- 自分なりのマーク (例)
 - ・ □で囲んだり、○で囲んだりして主語や数字を目立たせる。
 - ・ 下線も、_____ 波線 ~~~~~ 二重線 _____ など使い分ける。
 - ・ 制度の名前を記す

4. LEC過去問・問題演習講座、答練・模試のご案内

過去問講座	過去問 スタンダード 演習講座 <small>(マ/7回、管/7回)</small>	頻出論点の過去問を厳選、問題演習で必須知識を養成！ 頻出論点の過去問を厳選して問題演習・解説を行います。出題形式に慣れるとともに各問を分析し、解くべき問題、慎重になるべき問題、深入りするべきでない問題を見極めて優先づけるよう学習します。
	過去問 パーフェクト 演習講座 <small>(マ/5回)</small>	過去問スタンダード+αの徹底攻略！ 過去10年の過去問から難易度「普」「難」を中心とした問題を演習・解説します。「過去問スタンダード演習講座」にプラスアルファして実力をつけたい方、基礎的知識には自信のある方にお勧めします。

問題演習講座	一問一答 解きまくり講座 <small>(マ・管共通/3回)</small>	出る順「一問一答集」で基礎知識を効率的に確認！ 過去の本試験問題からピックアップした重要な肢とオリジナル問題を体系に沿ってまとめた「一問一答集」を使って基礎知識を効率的に確認することができます。四肢択一問題を解く前のウォーミングアップにもお役立てください。
	実戦演習 総まとめ講座 <small>(マ管共通6回、 マ重点分野/1回 管重点分野/1回)</small>	基礎知識から解答を導く実戦力をつける！ 出題範囲の全てを記憶するのは現実的ではなく、本試験の限られた時間内では基礎知識をベースに分析・推論で解答する必要があります。法律(条文)の趣旨・ポイントを押さえて解答できる実戦力を養います。また、各問に関連した周辺知識も図表を使って総まとめします。 ※講義形式「演習40分→解説・総まとめ講義100分」

答 練 ・ 模 試	基礎答練 (マ/1回、管/1回)	曖昧な知識は復習して正確に！ LEC 本試験リサーチで蓄積したデータから、試験では絶対に落とせない難易度「易」を中心としたオリジナル問題を本試験と同様、「四肢択一形式 50 問を 2 時間」で解答して頂きます。成績処理サービスで、現在の学習進捗レベルを確認しましょう。
	実戦答練 (マ/1回、管/1回)	弱点発見と分野別対策を！ LEC 本試験リサーチで蓄積したデータから、試験で他受験者と差がつく難易度「普」「難」を中心としたオリジナル問題を本試験と同様、「四肢択一形式 50 問を 2 時間」で解答して頂きます。成績処理サービスで、現在の本試験実戦レベルを確認しましょう。
	全国公開模試 (マ/1回、管/1回)	全国のライバルと真剣勝負！ 直前期の弱点分析に！ 本試験直前期の模擬試験受験により、残りの期間でどの知識を強化すべきか分析するのは大変有意義です。個人成績表・総合成績表を活用して本試験対策の完成度を最終確認し、総仕上げのために残された時間を有効に使いましょう。

※ 「2022 年版 出る順マンション管理士 分野別過去問題集」または「2022 年版 出る順管理業務主任者 分野別過去問題集」に添え付けの **Web アンケート** にお答えいただくと、
『2022 年 答練・模試のパック 20%割引クーポン』 をプレゼントしております。
 過去問題集をお持ちの方は、是非ご確認ください！